

# 灯油スマートセンサー導入

栗本

【伊達】伊達市大町で「伊達大町サービスステーション（SS）」を運営する栗本（栗本久生代表取締役）は、灯油タンクにセンサーを設置し、残量をオンラインで管理して適切に配送する「スマートセンサー」を導入し、顧客への普及を進めている。給油所は敷地を拡張する改装工事中で6月にリニューアルオープンを予定。サービスの一層の向上を図る。（高橋紀匠）



6月のリニューアルに向け仮店舗（右）で営業中の伊達大町SS

## 胆振西部地区で初めて

スマートセンサーは、灯油タンクのキャップから灯油の液面までの距離を定期的に計測し、残量を推計。データを可視化し、配送計画を生成、管理するシステムで、ゼロスベック（本社・札幌市）が開発した。重油や軽油などさまざまな場面で使用でき、2020年のリリースから41都道府県で約7万台、約300社が運用している。

給油所の事業再構築・経営力強化を図る、全国石油

協会の補助金交付事業となっており、全国に普及が進んでいる。胆振西部地区では栗本が初めて導入し、これまで約240台を設置した。灯油タンクのキャップを交換するだけで、顧客側の料金負担もなく手軽に導入できる。

灯油の配送は、顧客の灯油消費量や給油間隔など過去の実績に基づいた予測や、現地でメーターを自視で確認するなどの対応が求められる。厳寒期につ

灯油タンクのキャップとして設置するスマートセンサー



## 伊達大町SS 6月リニューアル

り空にしてしまつトラブルなど、急な配送依頼もあり、適切な配送計画の作成と運用は、業務の効率化と利用者の安心感にもつながる。

「灯油残量がグラフで分かる！ので、適切な配送が可能になります」と栗本代表。「通常時と異なる急な減少があった場合には、灯油漏れなどのトラブルを疑ってチェックすることもできます」とメリットを語り、センサーの普及とサービス向上を図る方針。

同SSは、道路の拡張工事に合わせた敷地の拡張と、地下タンクの更新、ガソリン計量器入れ替えなどの改装工事を実施中。現在は拡張された敷地の仮店舗で営業しており、6月のリニューアルオープンへ準備を進めている。

問い合わせは同SS、電話0142・23・3456へ。

The Muromin Press

いぶり西部版 洞爺湖・壮瞥・豊浦  
**伊達民報**

西部支社(伊達)

TEL 0142-23-2103  
FAX 0142-23-5848  
seibu@muromin.co.jp

中部支社(登別)

TEL 0143-85-4530  
FAX 0143-85-4773  
chubu@muromin.co.jp

白老・苫小牧支社

TEL 0144-82-2484  
FAX 0144-85-2300

札幌支社

TEL 011-241-2753  
FAX 011-241-2637

ニュース、生活情報、購読、  
広告は上記の各支社へ  
お知らせください。